

科目名	情報リテラシー実践 A		基礎科目群	単位数	2	
担当教員	時間割参照	前期	月曜日～金曜日		2・3・5限	
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-102-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	基本的な情報の活用に加えて、表計算ソフトを利用した基礎的な統計分析に取り組む。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none">・情報機器の使い方を理解し、具体的な課題解決の場面において、情報を収集、分析、判断、編集、発信、共有することができる（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力）・統計学の基礎を理解し、表計算ソフトによるデータ分析に取り組むことができる（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力）・情報化社会の特徴を理解し、情報セキュリティ、情報モラル・ルールとマナー、ソーシャルメディア、著作権・肖像権侵害、ネット犯罪の観点からインターネット上での問題に対処する方法を考えることができる（倫理観、社会的責任の自覚）					
授業計画・内容 授業方法	<p>対面授業が可能となるまでは、原則、オンライン授業（リアルタイム授業とオンデマンド授業の両方）を実施する。</p> <p>流動的な変更が生じる可能性もあるため、詳しくは担当教員からの指示に従うこと。</p> <p>【基本】4回程度</p> <p>0. 情報倫理講習のオンライン受講（ビデオの視聴、チェックテストの回答）</p> <p>1. 授業ガイダンス（情報処理教室の使い方、教育システムの紹介）、レディネス調査</p> <p>2. コンピュータの基本操作と構造（ファイル・フォルダの管理、電子メールの送受信）</p> <p>3. ネットワークの仕組み、情報検索（WWWでの情報検索、学術情報の情報）</p> <p>4. 情報の活用と情報倫理、情リテ情報倫理テスト</p> <p>【標準】4回～6回程度</p> <p>5. 表計算ソフトによるデータ処理(1)（表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィルなど）</p> <p>6. 表計算ソフトによるデータ処理(2)（関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成など）</p> <p>7. 表計算ソフトによるデータ処理(3)（ソート、フィルタ、データの集計など）</p> <p>8. 課題提出のための実習（文書作成ソフトと表計算ソフトを用いたレポート作成など）</p> <p>9. 統計学についての基礎知識（データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど）</p> <p>10. 母集団と標本（平均・分散の推定、正規分布、t分布など）</p> <p>【発展】4回～5回程度</p> <p>11. 平均値の差の検定(1)（対応のあるデータについてのt検定）</p> <p>12. 平均値の差の検定(2)（対応のないデータについてのt検定）</p> <p>13. 相関分析</p> <p>14. 単回帰分析</p> <p>15. まとめ</p> <p>授業開始日以前に、kibaco等で学習教材が公開される予定となっている。</p> <p>情報倫理講習については、授業開始日以前に、全員が終了していることを前提とする。</p> <p>【標準】および【発展】の学習内容は、各学部・学科により異なる場合がある。</p>					
授業外学習	eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。 <p>オンライン授業の実施に伴い、メッセージや掲示板等を活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco 利用ガイド」を確認すること。</p> <p>http://www.comp.tmu.ac.jp/e-learning/kibaco_guide.html</p>					
テキスト・参考書等	eラーニングシステム「kibaco」上に、標準コースウェアおよび各種動画コンテンツを設置する。 <p>クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。</p>					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none">・授業への積極的な参加、【基本】【標準】【発展】で提示される課題や発表、情リテ情報倫理テストなどの観点に基づき、総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある）・課題や発表については、ICTを活用した課題解決や表計算ソフトによるデータの統計分析に主体的に取り組んでいるかどうかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力、専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力）・情リテ情報倫理テストでは、一般的な情報倫理に加えて、本学の情報環境に関する利用方法を理解できているかを確認する（倫理観、社会的責任の自覚）・4回以上の欠席は原則として不合格とする					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。 <p>なお、本授業に関する最新情報は、以下のウェブサイトを確認すること。</p> <p>https://infolit.uec.tmu.ac.jp/infolit/</p>					

科目名	情報リテラシー実践 A		基礎科目群	単位数	2	
担当教員	時間割参照	前期	月曜日～金曜日		2・3・5限	
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-102-1：全学共通科目					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	初回の「情報倫理講習」を受講しない場合、原則として授業に参加できなくなるため注意すること。 関連する授業科目として、後期に情報リテラシー実践 A（統計学の基礎とデータ分析）、情報リテラシー実践 B（プログラミング）、情報リテラシー実践 C（画像・音・映像等の処理）を提供している。					